



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デサント  
コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石本 雅敏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役スタッフ管掌 (氏名) 辻本 謙一

四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06-6774-0362

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	50,187	15.8	2,487	0.7	2,615	2.4	1,813	13.2
25年3月期第2四半期	43,320	8.5	2,469	10.9	2,554	12.6	1,601	9.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,989百万円 (93.3%) 25年3月期第2四半期 1,546百万円 (△12.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	24.07	—
25年3月期第2四半期	21.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
26年3月期第2四半期	76,267		51,359		67.3
25年3月期	75,237		48,974		65.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 51,359百万円 25年3月期 48,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	13.1	6,000	10.7	6,100	8.2	4,000	12.3	53.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	76,924,176 株	25年3月期	76,924,176 株
26年3月期2Q	1,577,798 株	25年3月期	1,574,138 株
26年3月期2Q	75,348,131 株	25年3月期2Q	75,353,509 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 販売実績	12
(2) 海外売上高	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国の景気減速、ASEAN諸国における成長ペースの鈍化など、新興諸国の勢いに陰りが見られるものの、米国経済の好調さ、低迷していた欧州経済も景気の下げ止まり感があり緩やかな回復傾向にあります。

日本経済は、アベノミクスの「三本の矢」政策により、大企業を中心とした企業収益や雇用情勢は改善傾向にあり、個人消費も回復傾向にありますが、円安・原油高の影響等もあって、輸入環境は悪化傾向が続いています。

当スポーツ業界においては、2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催決定や、「第22回冬季オリンピック競技大会(2014/ソチ)」、「FIFA ワールドカップ20回記念大会(2014/ブラジル)」の開催など、引き続きスポーツへの注目は高まっており、また、消費マインドの緩やかな改善と個人消費の増加傾向が背景にあるものの、天候不順等により、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは5月に発表した当期を初年度とする中期3ヵ年計画「Compass 2015」の達成に向けて、各種政策を推し進めてまいります。

商品政策では、春夏シーズンの戦略素材である太陽光遮蔽素材「サンスクリーン」を使用した商品を、引き続き国内外各ブランドで展開してまいりました。各ブランドにおいて、「マンシングウェア」では、スポーツに特化して開発した高速消臭機能素材「デオダッシュ」を採用したゴルフシャツを8月中旬より販売を開始いたしました。また「アリーナ」では、フィギュアスケートの浅田真央選手がプロデュースする「MaoMao」ブランドのフィットネスウェア「MaoMao by arena」の2014年春夏シーズンからの展開スタートを発表いたしました。さらに「ルコックスポルティフ」では、自転車の世界最高峰のロードレース「ツール・ド・フランス2013」で、優勝者に与えられるエリートジャージのレプリカモデルの販売を行いました。

販売活動では、国内において、新規店として、10月10日にコーポレートブランド「デサント」のフラッグシップショップ「DESCENTE SHOP TOKYO (デサント ショップ 東京)」をオープンいたしました。

「感動のいちばん近くに」というブランドのキーメッセージをベースに、「デサント」が培ってきた「クラフトマンシップ」「モノづくりスピリット」を国内外に広く発信し、グローバルブランドとしての「デサント」をPRしていく店舗を目指します。また、7月20日に千歳アウトレットモール・レラに「デサントアウトレットストア千歳店」をオープンいたしました。海外においては、韓国では、「デサント」の展開店舗を148店に拡大し、その他ブランドでも百貨店やモールへ積極的に出店いたしました。香港では、「ルコックスポルティフ(アスレチック)」の直営店を2店舗オープンするなど、各国で引き続き展開店舗拡大を進めています。

広告宣伝・販売促進活動では、国内においては、「第22回オリンピック冬季競技大会(2014/ソチ)」において、日本代表選手団が使用するオフィシャルスポーツウェア8アイテムの提供を、発表いたしました。なお、レプリカモデルについては、4アイテムを12月下旬より販売予定です。野球では、「デサント」でオフィシャルスポンサー契約を締結しております「東北楽天ゴールデンイーグルス」が、初のリーグ優勝に輝きました。水泳では、「アリーナ」で世界水泳選手権バルセロナ大会にて、当社契約の北島康介選手・入江陵介選手が、400Mメドレーリレーで銅メダルを獲得しました。人気の高まるトレイルランニングでは、「イノヴェイト×デサント」「デサント」ブランドで、9月15日に長野県白馬村にて開催された「第3回 白馬国際トレイルラン」に特別協賛いたしました。ゴルフでは国内においては、当社契約の宮里美香プロが、国内女子メジャー大会である「日本女子オープンゴルフ選手権競技」で優勝したのをはじめ、横峯さくらプロ(ルコックスポルティフ)が101試合連続予選通過の日本女子ツアー記録を樹立し、9月恒例の「第44回マンシングウェアレディース東海クラシック」で優勝、全美貞プロ(マンシングウェア)、佐伯三貴プロ(ランバン スポール)も各大会で優勝しました。海外においては、デサント韓国契約で「マンシングウェア」着用の裴相文(ベ・サンムン)プロが、アメリカPGAツアーの「HPバイロンネルソン選手権」で優勝するなど、国内と同様に契約選手の活用、イベント・大会への協賛等を通じて各国で展開ブランドのイメージ向上に努めました。

社会貢献活動では、「特定非営利活動法人東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会」のオフィシャルパートナーとして協賛し、招致活動をサポートしてまいりました。また、デサントヘルスマネジメント研究所で培ったノウハウを活用し、福島県富岡町にて、健康増強支援プログラム「東北元気アップ教室2013」を開催、引き続き被災地の方々の心と体の健康維持向上のための支援活動を続けてまいります。さらに、熱中症撲滅の輪を広げることを目的に、一般財団法人 日本気象協会が展開する「熱中症ゼロへ」活動に協賛しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は50,187百万円（前年同四半期比15.8%増）、営業利益は2,487百万円（前年同四半期比0.7%増）、経常利益は2,615百万円（前年同四半期比2.4%増）、四半期純利益は1,813百万円（前年同四半期比13.2%増）となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

アウトドア事業は順調に推移し、ゴルフ事業は堅調に推移いたしました。アスレチック事業は減収となりました。結果、売上高は「クレージュスポーツフューチャー」及び「スポーツスタディオウィックテム」の販売中止による売上減も含め、28,275百万円（前年同四半期比0.4%減）、セグメント利益は474百万円（前年同四半期比60.2%減）となりました。

（アジア）

韓国では事業全般にわたり好調に推移し大幅な増収となり、中国、香港でも好調に推移いたしました。尚、為替変動は業績に好影響をもたらしました。結果、売上高は21,907百万円（前年同四半期比47.0%増）、セグメント利益は2,177百万円（前年同四半期比59.9%増）となりました。

（北米）

北米ではスキーウェアを中心としたアウトドア事業を行っております。売上高は3百万円（前年同四半期比71.6%減）、セグメント損失は171百万円（前年同四半期は115百万円のセグメント損失）となりました。

取扱商品の品目別売上高の状況は次のとおりであります。

（アスレチックウェア及びその関連商品）

国内市場においては、「ルコックスポルティフ」はウィンドブレーカー及びシャツアイテムが販売を牽引し、順調に推移いたしました。「アリーナ」は当社とアドバイザー契約を結ぶ北島康介選手がプロデュースする新コレクション「+K(プラスケイ) arena by KOSUKE KITAJIMA」の展開等により、堅調に推移いたしました。「デサント」はトレーニングアイテム、「アンブロ」はゲームウェアやトレーニングアイテムの販売苦戦により減収となりました。アジア市場においては、韓国において「デサント」が、ランニング商材の展開が功を奏し大幅な増収となり、「ルコックスポルティフ」も好調に推移いたしました。結果、売上高は31,497百万円（前年同四半期比17.5%増）となりました。

（ゴルフウェア及びその関連商品）

国内市場においては、「マンシングウェア」はパンツアイテム及び盛夏企画シャツアイテムが販売を牽引し堅調に推移いたしました。「ランバン スポール」は高級素材を用いた商品等が販売を牽引し、商品全般にわたり好調に推移し、「カルバン・クライム ゴルフ」は展開店舗の増加と既存店の底上げにより売上を大きく伸ばしましたが、「ルコックスポルティフ」はレインウェア等の販売苦戦により、減収となりました。アジア市場においては、韓国において、「マンシングウェア」はカジュアルライン拡大と、日本では団塊ジュニア世代向けとして展開している新カテゴリー「Rライン」の立上げ効果により好調に推移し、「ルコックスポルティフ」も好調に推移いたしました。結果、売上高は15,813百万円（前年同四半期比8.8%増）となりました。

（アウトドアウェア及びその関連商品）

国内市場においては、「マーモット」はパンツアイテムの好調と、加えて猛暑の影響でカットソーやハットアイテムの需要増により、好調に推移いたしました。アジア市場においては、韓国において「デサント」は好調に推移いたしました。北米においては、スキーウェアを中心とした事業を展開しておりますが、当期間においては減収となりました。結果、売上高は2,876百万円（前年同四半期比44.9%増）となりました。

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は76,267百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,029百万円増加いたしました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ884百万円減少し、55,689百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少3,421百万円、商品及び製品の増加1,347百万円によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ1,913百万円増加し、20,577百万円となりました。これは主に有形固定資産の増加1,203百万円、投資その他の資産の増加786百万円によるものです。

負債合計は前連結会計年度末に比べ1,354百万円減少し、24,907百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少1,161百万円によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ2,384百万円増加し、51,359百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加1,210百万円、為替換算調整勘定の増加974百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.2%増の67.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前第2四半期連結累計期間に比べ141百万円増加し、14,896百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,615百万円、減価償却費760百万円の計上がありました。売上債権の増加額425百万円、たな卸資産の増加額1,004百万円、仕入債務の減少額1,402百万円、法人税等の支払額1,057百万円などにより、649百万円の支出超過（前第2四半期連結累計期間は、1,274百万円の支出超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、韓国での物流倉庫の建設などにより、1,513百万円の支出超過（前第2四半期連結累計期間は、1,429百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額602百万円などにより、660百万円の支出超過（前第2四半期連結累計期間は、664百万円の支出超過）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境はさらに厳しい状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き企業体質の強化による収益力向上と企業価値の向上に努めてまいりたいと存じます。

連結業績予想につきましては、概ね当初予想の範囲内で推移しており、現時点においては、平成25年5月9日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,536	15,115
受取手形及び売掛金	18,694	19,309
商品及び製品	16,399	17,747
仕掛品	79	151
原材料及び貯蔵品	559	612
その他	2,363	2,822
貸倒引当金	△59	△67
流動資産合計	56,573	55,689
固定資産		
有形固定資産	11,626	12,829
無形固定資産	1,179	1,103
投資その他の資産		
その他	6,020	6,894
貸倒引当金	△162	△250
投資その他の資産合計	5,858	6,644
固定資産合計	18,663	20,577
資産合計	75,237	76,267
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,212	14,051
1年内返済予定の長期借入金	1,500	1,500
未払法人税等	963	893
賞与引当金	788	781
返品調整引当金	303	333
その他	4,390	3,800
流動負債合計	23,159	21,359
固定負債		
退職給付引当金	1,047	1,122
その他	2,054	2,425
固定負債合計	3,102	3,547
負債合計	26,262	24,907



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	20,576	21,786
自己株式	△661	△664
株主資本合計	48,944	50,153
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	258	429
繰延ヘッジ損益	△45	△13
為替換算調整勘定	△183	791
その他の包括利益累計額合計	30	1,206
純資産合計	48,974	51,359
負債純資産合計	75,237	76,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	43,320	50,187
売上原価	21,337	23,736
売上総利益	21,983	26,451
返品調整引当金繰入額	27	29
差引売上総利益	21,955	26,422
販売費及び一般管理費	19,486	23,934
営業利益	2,469	2,487
営業外収益		
受取利息	34	30
受取配当金	54	38
受取補償金	33	97
その他	74	75
営業外収益合計	196	241
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産除却損	7	24
為替差損	82	82
その他	20	6
営業外費用合計	111	113
経常利益	2,554	2,615
特別利益		
固定資産売却益	90	—
投資有価証券売却益	27	—
特別利益合計	117	—
特別損失		
投資有価証券評価損	239	—
特別損失合計	239	—
税金等調整前四半期純利益	2,432	2,615
法人税、住民税及び事業税	809	892
法人税等調整額	21	△89
法人税等合計	830	802
少数株主損益調整前四半期純利益	1,601	1,813
四半期純利益	1,601	1,813

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,601	1,813
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△233	170
繰延ヘッジ損益	2	31
為替換算調整勘定	170	915
持分法適用会社に対する持分相当額	5	58
その他の包括利益合計	△55	1,176
四半期包括利益	1,546	2,989
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,546	2,989

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,432	2,615
減価償却費	637	760
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	93
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	△6
返品調整引当金の増減額(△は減少)	27	29
退職給付引当金の増減額(△は減少)	72	73
投資有価証券評価損益(△は益)	239	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△90	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△27	—
受取利息及び受取配当金	△88	△69
支払利息	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	△821	△425
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,127	△1,004
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,227	△1,402
その他	△230	△323
小計	△194	339
利息及び配当金の受取額	88	69
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,168	△1,057
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,274	△649
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	183	89
定期預金の預入による支出	△85	△138
有形固定資産の取得による支出	△1,155	△1,828
有形固定資産の売却による収入	195	7
無形固定資産の取得による支出	△718	△159
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	36	—
その他	121	521
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,429	△1,513
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△602	△602
自己株式の取得による支出	△1	△2
その他	△60	△55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△664	△660
現金及び現金同等物に係る換算差額	65	333
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,302	△2,490
現金及び現金同等物の期首残高	18,057	17,387
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 14,755	※ 14,896

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,399	14,907	13	43,320	—	43,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,442	51	—	1,493	△1,493	—
計	29,841	14,959	13	44,814	△1,493	43,320
セグメント利益又は損失	1,192	1,361	△115	2,439	30	2,469

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額30百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、棚卸資産の調整額31百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,275	21,907	3	50,187	—	50,187
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,445	98	—	1,544	△1,544	—
計	29,721	22,006	3	51,731	△1,544	50,187
セグメント利益又は損失	474	2,177	△171	2,480	7	2,487

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額7百万円には、セグメント間取引消去35百万円、棚卸資産の調整額△28百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 販売実績

(単位：百万円、%)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
アスレチックウェア 及びその関連商品	26,805	61.9	31,497	62.8	4,691	17.5
ゴルフウェア 及びその関連商品	14,530	33.5	15,813	31.5	1,282	8.8
アウトドアウェア 及びその関連商品	1,984	4.6	2,876	5.7	891	44.9
計	43,320	100.0	50,187	100.00	6,866	15.8

## (2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	15,661	15	633	16,311
II 連結売上高				43,320
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	36.2	0.0	1.5	37.7

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・・ロシア、スイス等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	22,628	7	650	23,286
II 連結売上高				50,187
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	45.1	0.0	1.3	46.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・・ロシア、スイス等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。